

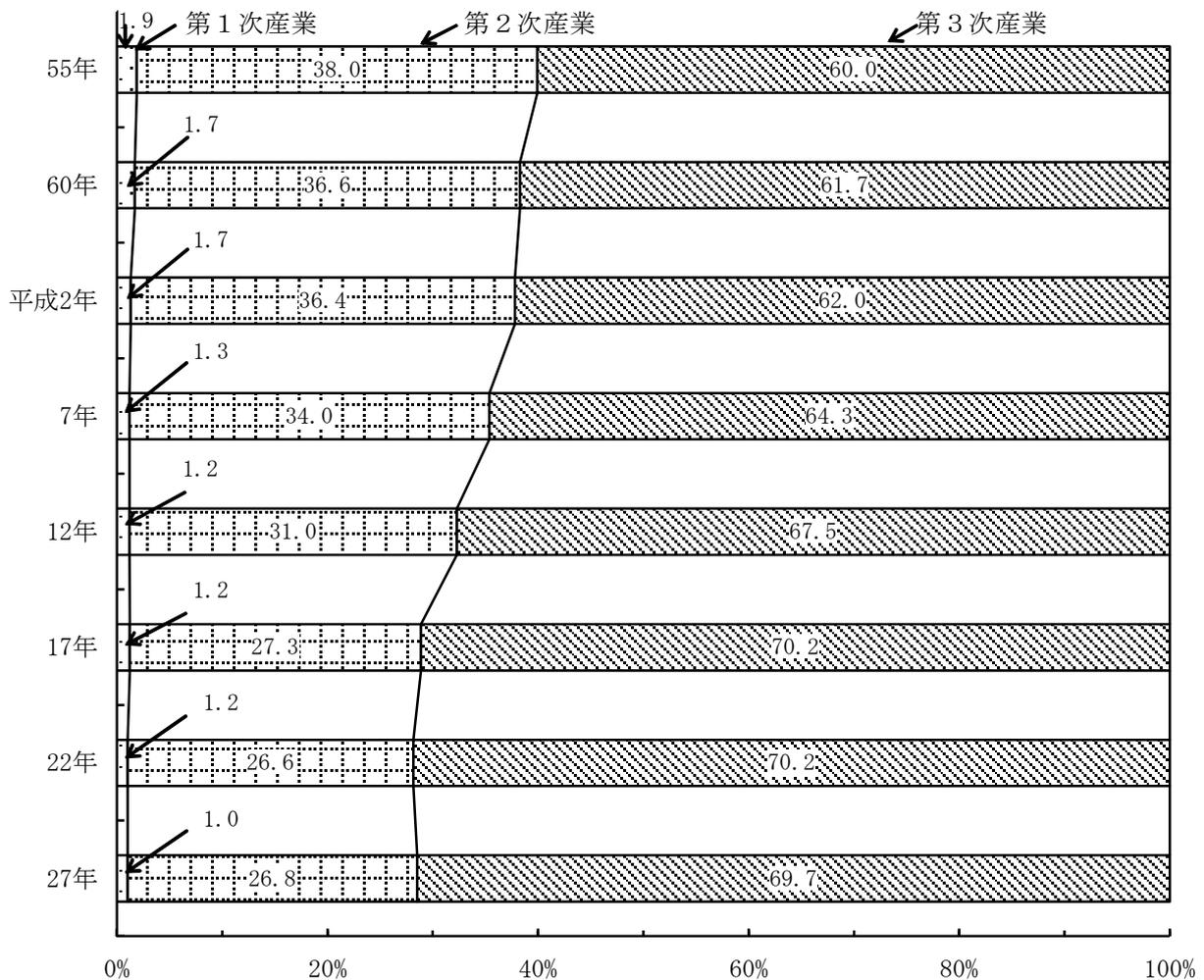
## (2) 産 業

### — 第3次産業就業者の割合は堅調に拡大 —

平成27年の15歳以上就業者36,931人を産業3部門別にみると、農林漁業の「第1次産業」就業者が374人(1.0%)、鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業の「第2次産業」就業者が9,882人(26.8%)、商業、運輸業・通信業、サービス業などの「第3次産業」就業者が25,739人(69.7%)となっています。

産業構造の推移を就業者の産業別割合でみると、第1次産業、第2次産業から第3次産業への変化が落ち着き、就業構造はおおむね横ばいの数値を示しています。

図13. 産業(3部門)別就業者数割合の推移(昭和55年~平成27年)



### — 就業者の産業別割合は男子「製造業」、女子「卸売・小売業」がトップ —

男女別に産業別就業者の割合をみると、男子は「第1次産業」が1.1%、「第2次産業」が35.7%、「第3次産業」が60.5%となっています。産業大分類別では、「製造業」が28.4%で最も多く、以下、「卸売業、小売業」が13.1%、「建設業」が7.3%でこれに次いでいます。

一方、女子は「第1次産業」が0.9%、「第2次産業」が14.7%、「第3次産業」が82.1%となっており、第3次産業就業者の割合が大変高いのが目立っています。産業大分類別では、「医療、福祉」が23.2%で最も高く、以下、「卸売業、小売業」の19.2%、「製造業」の12.9%がこれに次いでいます。

男女別割合についてみると、就業者総数では男子57.5%、女子が42.5%で、産業別では「第1次産業」は男子が62.6%、女子37.4%となっており、「第2次産業」は男子76.7%、女子23.3%、「第3次産業」は男子50.0%、女子50.0%となっており、「第2次産業」で男子労働力へのウエイトが高くなっているのが目立ちます。

表12. 産業（大分類）別就業者数、割合（平成27年）

（単位：人、%）

産 業	就 業 者 数			産 業 別 割 合			男 女 別 割 合	
	総 数	男	女	総数	男	女	男	女
総 数	36,931	21,249	15,682	100.0	100.0	100.0	57.5	42.5
第 1 次 産 業	374	234	140	1.0	1.1	0.9	62.6	37.4
農 業	367	228	139	1.0	1.1	0.9	62.1	37.9
林 業	7	6	1	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
漁 業	-	-	-	-	-	-	-	-
第 2 次 産 業	9,882	7,583	2,299	26.8	35.7	14.7	76.7	23.3
鉱業、採石業、砂利採取業	3	3	-	0.0	0.0	-	100.0	-
建 設 業	1,827	1,551	276	4.9	7.3	1.8	84.9	15.1
製 造 業	8,052	6,029	2,023	21.8	28.4	12.9	74.9	25.1
第 3 次 産 業	25,739	12,857	12,882	69.7	60.5	82.1	50.0	50.0
電気・ガス・熱供給・水道業	127	106	21	0.3	0.5	0.1	83.5	16.5
情 報 通 信 業	1,150	892	258	3.1	4.2	1.6	77.6	22.4
運 輸 業， 郵 便 業	1,695	1,354	341	4.6	6.4	2.2	79.9	20.1
卸 売 業， 小 売 業	5,797	2,782	3,015	15.7	13.1	19.2	48.0	52.0
金 融 業， 保 険 業	1,138	545	593	3.1	2.6	3.8	47.9	52.1
不 動 産 業， 物 品 貸 借 業	909	541	368	2.5	2.5	2.3	59.5	40.5
学 術 研 究， 専 門・技 術 サ ー ビ ス 業	1,481	961	520	4.0	4.5	3.3	64.9	35.1
宿 泊 業， 飲 食 サ ー ビ ス 業	1,654	636	1,018	4.5	3.0	6.5	38.5	61.5
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業， 娯 楽 業	1,106	450	656	3.0	2.1	4.2	40.7	59.3
教 育， 学 習 支 援 業	2,177	989	1,188	5.9	4.7	7.6	45.4	54.6
医 療， 福 祉	4,849	1,212	3,637	13.1	5.7	23.2	25.0	75.0
複 合 サ ー ビ ス 事 業	180	108	72	0.5	0.5	0.5	60.0	40.0
サ ー ビ ス 業(他 に 分 類 さ れ な い も の)	2,243	1,446	797	6.1	6.8	5.1	64.5	35.5
公 務(他 に 分 類 さ れ る も の を 除 く)	1,233	835	398	3.3	3.9	2.5	67.7	32.3

注) 総数には「分類不能の産業」を含む。